

# 夏の部優秀賞十首

せいしゅん うた つど もり  
青春の歌よみ集う杜のまち

ひやくねんあと  
百年後の

たくぼく  
啄木になる

山梨県南巨摩郡 田中 実

ふ そそ  
降り注ぐ

なつ く  
トワイライトに照らされし不來方の城

夏は暮れゆく

気仙沼市 佐藤 美侑

たくぼく  
啄木がひっそり立って  
るるやうな

こざかたじょうし あおば  
不來方城跡 青葉にしずもる

盛岡市 中嶋 富子

つるかいばし

鶴飼橋

わた ご こうまえき

渡りて五キロ好摩駅

たくぼくしの あゆ

啄木偲び歩みゆきたり

神奈川県湯河原町 三好 美樹

て かた たくぼく

わらんべの掌を取り語る啄木の

ぞう な

像を撫でゆく

かぜすず

風涼しかり

岐阜県各務原市 星河 ひかる

せ か

背に書いた

なむ あみ だぶつ おとしゆう

南無阿弥陀仏の男衆

ふね なが せんぞ おく

舟つこ流しに先祖を送る

盛岡市 花坂 俊子

にわ

庭あれし

しんこん いえ てんじ

「新婚の家」に展示さる

こと かな せつこ いひん

琴の悲しも節子の遺品

埼玉県八潮市 新倉 幸子

そ 染めたての濃い藍色のハンカチで  
とも おも ぞ  
友との思い出

かえ  
くるんで帰ろう

宮城県大崎市 加藤 美緒

てんまんぐう

天満宮

なつ ひ こ

夏の日ざしの木もればは

とりい おく あしはこ

鳥居の奥へと足運ばせる

宮城県大崎市 森永 蒼生

なかつがわかわざ ある さんばみち

中津川川沿い歩く散歩道

しだれやなぎと

かわ

川のせせらぎ

宮城県栗原市 鈴木 湧平

〔講評〕啄木にかかわる歌が多くありました。盛岡と啄木という結びつきが定着している  
と思われました。また今回は、中学生の短歌が多く寄せられました。修学旅行の生徒たち  
と思われれます。引率の先生の指導によるものでしょう。さわやかな短歌が多く、嬉しい思  
いでした。

平成二十四年九月選 夏の部

投稿数 二百十二首

選者 柏崎 驍二氏